

## 除菌消毒剤をいただきました

本日（6月4日）出雲市の糸賀ふとん店様より消毒液 10 リットルを寄贈していただきました。社長さんがおっしゃるには、松江市から大田市まで多くのお客さんにお世話になっているので、感謝の意を込めて、ご縁のある 50 以上の小中高等学校にこの様に直接持参され、贈呈されているそうです。感謝とか、よりよい社会づくりに貢献するとか、ご縁を大切にしたいといった社長さんのお話にあたたかさを感じました。

今後の感染症対策に利用させていただきます。  
ありがとうございました。



本校ではこれまでインフルエンザ等の感染症予防にアルコール消毒液を使っていたのですが、新型コロナウイルス感染が拡大し始めてから、手に入らなくなったこともあり、今はほとんどの消毒を次亜塩素酸水で賄っています。今回寄贈いただいたのは安定化二酸化塩素水溶液で、除菌消臭剤として普段から布団などの除菌・消毒・消臭に用いておられるようです。いろんな消毒液があるものだと、今回の新型コロナウイルス対策を通して感じています。

新型コロナウイルスが流行してからマスクが不足しだし、消毒液、体温計等が手に入りにくくなり、非接触型の体温計は未だ届かないといった状況です。使い切りマスクの代替として布製マスクがはやりだし、現在は冷感マスクやファッション性を重視したマスクが次々と登場し、消毒液もアルコール消毒から次亜塩素酸水、台所用洗剤を使った消毒液の有効性が認められるなど、代替品が次々と登場してきています。これら次々に新しいものが登場する背景は、不足（たりない）・不便（こんなのがあったらいいのに）・不満（どうにかできないか）・不安（大丈夫だろうか）を解消しようとする日本人の知恵や創造力の現れで、こういう発想から新しいものが作られていくのでしょうか。

6月1日の校長だより第15号でお知らせしたとおり、今日から後期県総体が始まる予定でした。本校からはソフトテニス（松江）、バドミントン（鹿島）、バレーボール（出雲）、弓道（江津）、卓球（益田）の各部が参加し、学校は閑散としているような週末を迎えるはずでした。しかし、今年は全員が揃って授業や実習を受けています。時々校舎内を回って授業の様子を見るのですが、どの授業も落ち着いた雰囲気で行われていると感じています。生徒たちは、切り替えて次のステージへ向かっているのでしょうか。この様な状況であっても冷静に落ち着いた行動ができるというのは素晴らしいことです。

昨日の放課後、来週から始まる中学校での高校説明会に“アンバサダー”として出かける生徒を対象に説明会が行われました。「よろしく頼むぞ！」という私の声かけに、「任せてください！」と頼もしい返事が返ってきました。

中学生にどんなプレゼントをしてくれるのか楽しみです。